



L 21802

近世 22.7-04-039

後 楊 菊 管 之 場 楊 桑 の 楊  
同 素 疣 敷 之 植 素 の 楊  
赤 披 拼 相 小 川 墓 の 楊  
後 次 流 阔 叫 嘴 大 の 楊  
酒 麻 石 浦 合 戰 猶 利 の 楊  
同 懇 名 輛 行 物 繼 の 楊  
赤 技 田 町 初 義 内 の 楊  
同 莺 町 千 東 寺 前 の 楊  
鶯 馬 芥 徒 送 俗 店 の 楊  
赤 沢 神 各 猪 飼 伎 店 の 楊  
後 圓 朝 刀 前 仕 遊 の 楊  
よ 楠 月 仕 遊 の 楊

古老の沙翁へ今も  
關東への旅各が  
其面影を真偽ふ  
一の懸念の半喜へ  
涉國の陣前

The central image consists of large, bold, black Japanese characters arranged vertically. The characters are highly stylized, with thick strokes and some internal cross-hatching, giving them a textured appearance. To the left of this central graphic, there is a column of smaller, standard-sized Japanese characters written vertically. This column reads '津絶 塗討の後悔'.

皆合ひて金の摘御者出でて赤役人の口より黒つね  
御指揮を黄金の矢弓で射て秦陵の傍へ歸る  
百丈の塔の傍で射て後秦の城を東むへ十面  
才を説くやうに御めが樂樹初一級分を有す大の  
氣力は世の才能を勝てしものの中を以て廣い  
をされば也と勢をもゆゆかずよもやがべく洞か  
られて送り人の門へ入り初夜からゆきを相ひて死  
氣のを絶ち死の聲の止むる所の御顔が  
傷愈ゆるおわねが爲めに事を御すらじ御す  
兼る惡者の太刀が即ち大刀を取て内を走る  
御の足を踏み上  
外をも尤も和めず大刀を取て





右  
左  
生因成陣後  
右  
左



中  
右  
左  
海鷦鷯浦組の物







